

OPEN SOURCE
JAPAN

2008.1.24

オープンソース・ビジネスの変遷と今後 ～最近の動向と多様性とは～

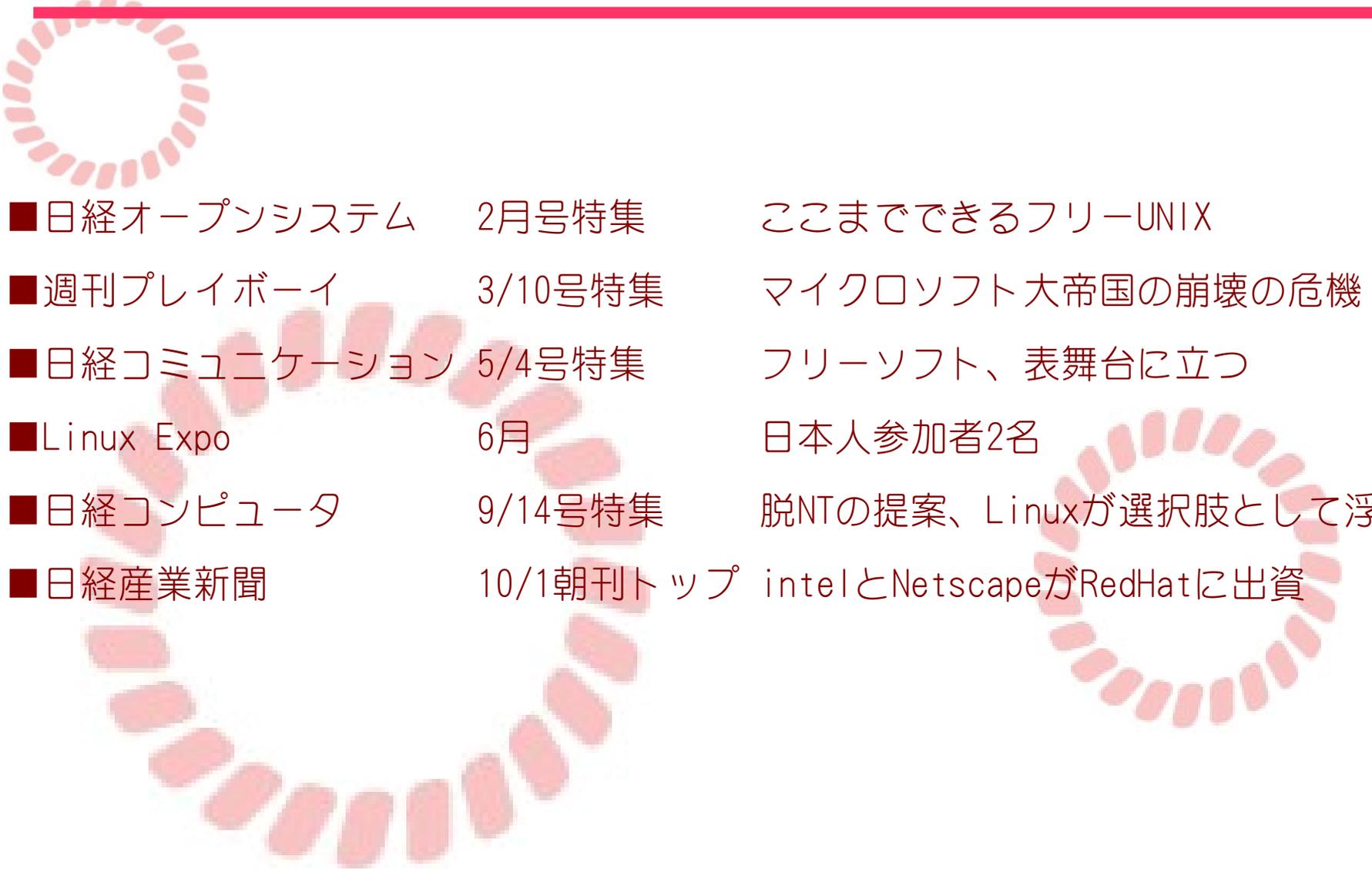
オープンソース・ジャパン株式会社
代表取締役 角田好志

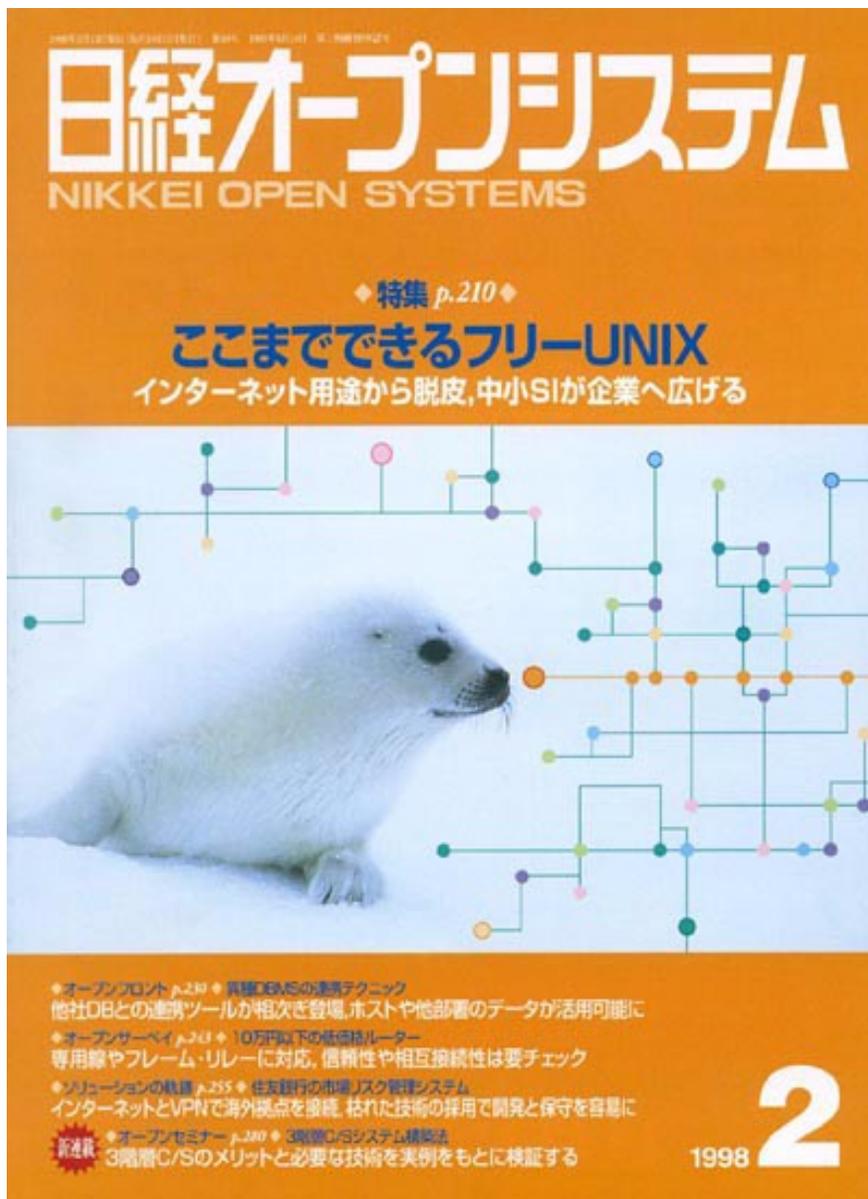
オープンソースの黎明期

【経緯】

- 1984年FreeSoftwareFoundation設立、GNU(GNU is Not Unix)プロジェクト開始
- 1991年9月Linuxが初めてインターネットにUpload
- 1995年RedHat社設立、LinuxディストリビューションをCD-ROM化
- 1998年「オープンソースの定義」を発表(OSI)
- 1999年8月RedHat社Nasdaqに株式公開

1998年のブレイク

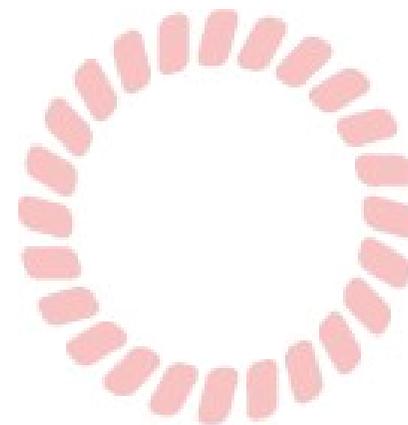
- 
- 日経オープンシステム 2月号特集 ここまでできるフリーUNIX
 - 週刊プレイボーイ 3/10号特集 マイクロソフト大帝国の崩壊の危機
 - 日経コミュニケーション 5/4号特集 フリーソフト、表舞台に立つ
 - Linux Expo 6月 日本人参加者2名
 - 日経コンピュータ 9/14号特集 脱NTの提案、Linuxが選択肢として浮上
 - 日経産業新聞 10/1朝刊トップ intelとNetscapeがRedHatに出資



ベンダーのサポートは？

システム構築コストは安い？

Web など特定分野だけでは？





こんな雑誌にも。

初めは大学を中心とした、若者の文化でもあった。





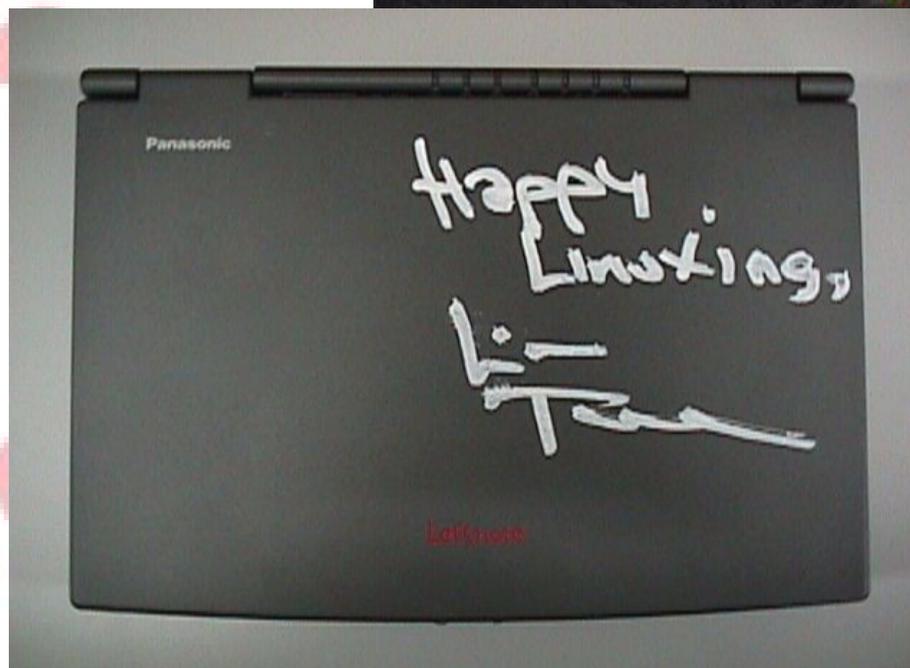
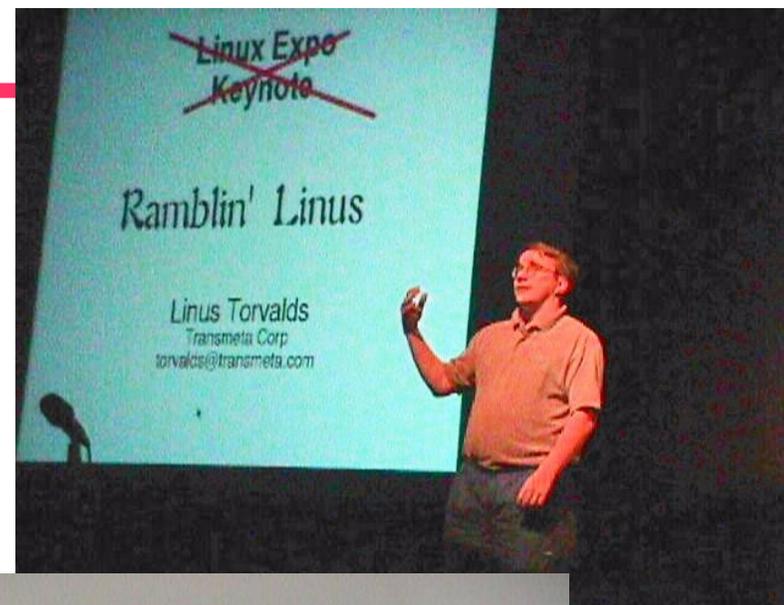
apache は日本でも普及 No. 1

NT (Windows サーバー) との
価格差で 1/3

定番オープンソースを紹介



1998年6月LinuxExpo
ノースカロライナにて





Windows NTとの性能比較

ベンダーサポート体制の整備

RDBなどアプリケーションの充実



いろいろなビジネス形態

米 RedHat 社のサブスクライブ・ビジネスの成功をうけ、様々なオープンソース・ビジネスの形態が実現した。
オープンソース・ライセンスの違いにより、ビジネスの形態が存在する。

今後は、ソースコードの改修により、ユーザー企業のメリットと合致したビジネスが主流となっていく。



サポート / サービス型

RedHat
MySQL (デュアル)

周辺パッケージ型

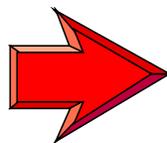
SendMail
Zend

改良パッケージ型

SRA
(Powergres)

基盤活用型 (SI / パッケージ)

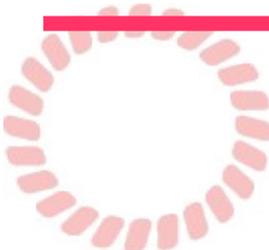
SI / ISV 各社



ソース改修保守型

業務系活用型

オープンソース・ビジネスの方向性 その1



RedHat の成功と サブスクライブの限界

ブランド構築の難しさと巨人の参入

RedHat ブランド以外は空振り
Oracle の参入でブランド格差歴然

パッケージソフト販売への回帰

サポートに限らずパッケージソフト販売へ
BSD ライセンスの台頭

オープンソース・ビジネスの方向性 その2



Googleによるユーザー主導

ライセンスからユーザー・ビジネスへ

根幹システムはOSSの改造版を活用
GPLでも再配布しなければ公開不要
OSSへの支援や方向は積極的

様々なソフトウェアの中のひとつ

商用ソフトや独自開発との混在利用
ハイブリッド活用の発展
OSSにこだわらない

オープンソース・ビジネスの方向性 その3

事業にマッチしたOSSを活用

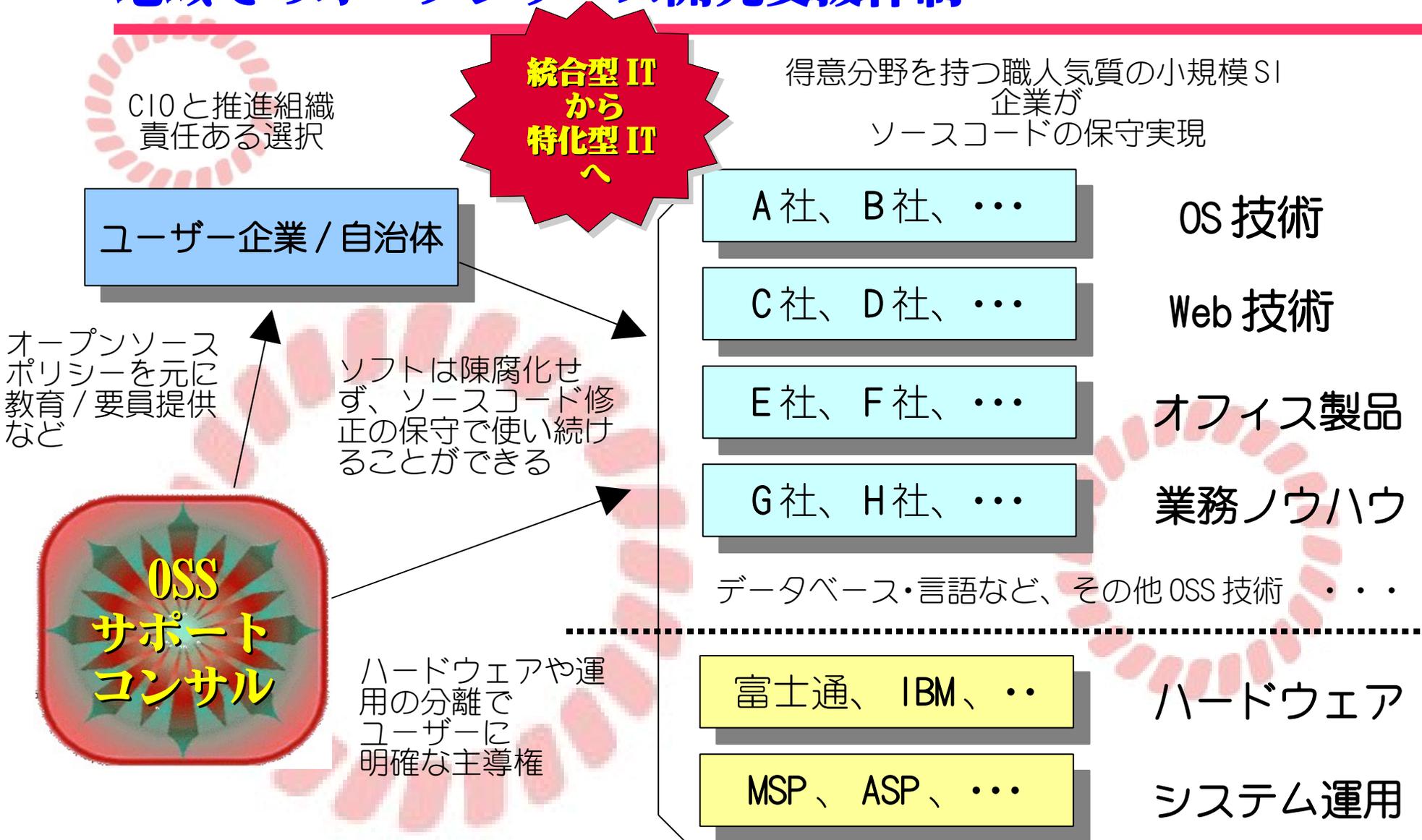
新たな事業のためのシステム素材の一種

サポートよりもユーザー責任の自覚
スクラッチ開発よりも大きなコスト削減
CMS や SNS をベースとした新事業の模索が進展

Web サービスがデータの無償化も推進

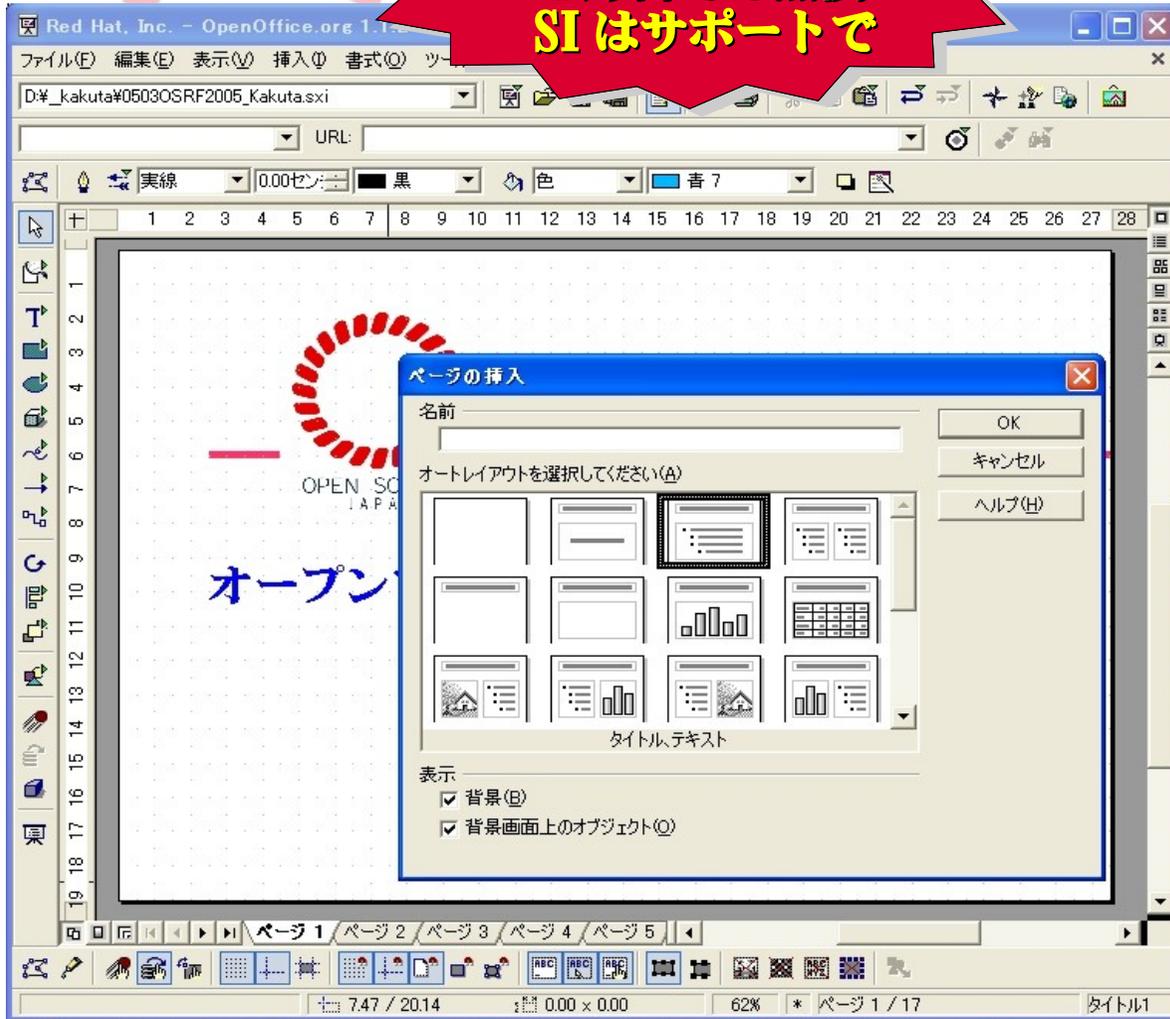
Web サービスが API 公開でデータを無償提供も
SOA も含めて社内外データの有効活用

地域でのオープンソース開発支援体制



OpenOffice へは先ず Windows 版から

OpenOffice は
1万台でも無償
SI はサポートで



- 大量に使用するパッケージソフト・ビジネスには限界が見えてきた。
- 独自開発の方が安いかも知れない。
- ましてやオープンソースによる追加開発なら確実に安くなる。
- マイクロソフトのOSおよびオフィススイート部門の営業利益率は異常に高い。
- 先ずは、MS-Office 排除から始めよう。
(MS-Office との互換性あり)

マイクロソフトの収益構造

Year Ended June 30	2007	2006	2005
Revenue:			
Client	\$14,812	\$13,040	\$11,901
Server and Tools	11,182	9,680	8,314
Online Services Business	2,474	2,306	2,353
Microsoft Business Division	16,381	14,516	13,298
Entertainment and Devices Division	6,132	4,808	3,485
Unallocated and other	141	(68)	437
Consolidated	\$51,122	\$44,282	\$39,788
Year Ended June 30	2007	2006	2005
Operating Income/(Loss):			
Client	\$11,544	\$10,245	\$ 9,435
Server and Tools	3,837	3,171	2,381
Online Services Business	(745)	115	470
Microsoft Business Division	10,724	9,687	9,146
Entertainment and Devices Division	(2,066)	(1,284)	(464)
Reconciling amounts	(4,770)	(5,462)	(6,407)
Consolidated	\$18,524	\$16,472	\$14,561

WindowsXP など
クライアント OS は
営業利益率 77.9%

サーバー関連は
営業利益率 34.5%

MS-Office などは
65.7%
昨年のセグメントは
information
worker で73%も
あった



マイクロソフト社
アニュアルレポート 2007
より

会社概要

- 
1. 社名 オープンソース・ジャパン株式会社
 2. 設立年月日 平成 14 年 12 月 13 日
 3. 本社所在地 東京都千代田区神田多町 2-9-2
神城ビル 9 階
 4. 資本金 45 百万円
 5. 株主 PCI ホールディングス
 6. URL www.opensource.co.jp
 7. mail kkakuta@opensource.co.jp